
(詩) 歩くリズム 他

花村

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

（詩）歩くリズム 他

【Nコード】

N1772B

【作者名】

花村

【あらすじ】

友達や好きな人のことを書いた詩です。3つ書いてあります。

《歩くリズム》

いち、に、さん
いち、に、さん

歩くリズム

僕のはやさ、君のはやさ
僕は君より背が高いから、僕は君の少し前

いち、に、さん
いち、に、さん

歩くリズム

僕のはやさ、君のはやさ
僕は君と歩きたいから
君を少し待つよ

いち、に、さん
いち、に、さん

僕のはやさ、君のはやさ
少しずつずれてくる歩幅
君はいつの間にか
僕の少し前

歩くリズム、歩くリズム
ここからは別の道を行かなきゃいけないね
いち、に、さん

目指す夢は違うもの
僕は僕で、君は君だ

いち、に、さん
さん、に、さん
歩くリズムは違っても
僕と君は違っても
僕らの関係はかわらない
何があっても友達
そう信じてる

《幸せ》

幸せはどこにあるんだろうって考えてたことがある
今でも時々考える
でも

考える必要はないんだよね幸せ

例えば、晴れた空。

例えば、曇った空。

友達に、先生に、親。

机に、ノートに、鉛筆。

大地に、森林に、海。

全部、全部幸せ

でも一番幸せなことは、
あなたがあたしの側に、
いてくれていること

《香り》

木の香り、コーヒーの香り雨の香り、花の香り、
干したふとんのおひさまの香り、チョコの香り
好きな香り

いろんなものを思い出す時一緒に香りも思い出す
あなたの香りも思い出した懐かしい香り

好きな香り

草の香り、本の香り

石けんの香り、果物の香りそしてあなたの香り

今さら気付いた

あなたのこと好きだったんだね

いつのまにか

あなたのこと好きになってた

もう遅いかもしれないね

でも気付いてよかった

これで前に進めるから

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1772b/>

（詩）歩くリズム 他

2010年10月11日00時34分発行